

# 「2010年度版 今日の一問」 (やまだ塾)

(2010年4月22日掲載)

(2010年5月25日一部修正)

No.3	「がん対策」について述べよ。
解答	<p><b>【1】がん対策基本法およびがん対策推進基本計画</b></p> <p>(1)がん対策基本法(2006年6月成立)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん対策を総合的に策定・実施する。基本的施策は、①がんの予防および早期発見の推進、②がん医療の均てん化の促進等、③研究の推進等、である。</li> <li>・国は、「がん対策推進基本計画」を策定し、①閣議決定・国会報告・公表、②達成状況の調査・公表、③少なくとも5年ごとに検討・変更、する。</li> <li>・都道府県は、「都道府県がん対策推進計画」を策定し、①がん医療の提供の状況等を踏まえ策定・公表、②少なくとも5年ごとに検討・変更、する。</li> </ul> <p>(2)がん対策推進基本計画(2007年6月閣議決定)</p> <p>1)重点的に取り組むべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①放射線療法・化学療法の推進、これらを専門的に行う医師等の育成</li> <li>②治療の初期段階からの緩和ケアの実施</li> <li>③がん登録の推進</li> </ul> <p>2)全体目標(10年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①がんによる志望者の減少(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)</li> <li>②全てのがん患者およびその家族の苦痛の軽減ならびに療養生活の質の向上</li> </ul> <p>(3)分野別施策およびその成果や達成度を計るための個別目標</p> <p>1)がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線療法・化学療法の推進・医療従事者の育成、緩和ケア、在宅医療、診察ガイドラインの作成 等</li> </ul> <p>2)医療機関の整備等</p> <p>3)がん医療に関する相談支援および情報提供</p> <p>4)がん登録</p> <p>5)がんの予防</p> <p>6)がんの早期発見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の受診率について、50%以上とする(5年以内)</li> </ul> <p>7)がん研究</p> <p><b>【2】がん対策推進計画を推進するための都道府県の主な取組み(アクションプラン)</b></p>

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2010 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

○都道府県がん対策推進計画(2009年10月に全都道府県で策定)に記載されている施策のうち、特に都道府県が主体となって取り組むことが不可欠な分野とされている3つの取組み(①たばこ対策, ②がん医療, ③がん検診)について、より一層の推進を図るための具体的な対処方針の作成を、都道府県に推奨する。

- ・地域の実情に即した目標および到達目標を定める。
- ・実施主体別の取組みを定める。(都道府県, 市区町村, 医療機関, 職域, がん患者・家族 等)
- ・各都道府県に設置されている, がん対策に関する協議会等の意見を聴きながら, アクションプランの作成・振興管理を行う。
- ・アクションプランの内容, 進捗状況に関する評価結果は, 毎年10月末までに厚生労働省に報告する。

### 【3】がんに関する統計(2010年1月27日現在)

項目	現状	出典
①死亡数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・33万6,468人(全死因に対し30.4%)</li> <li>・男性約20万人:女性約13万人</li> <li>・日本人の3人に1人ががんで死亡</li> </ul>	2007年人口動態統計
②罹患数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・64万1,594人</li> <li>・男性約37万人:多い部位①胃, ②大腸, ③肺, ④前立腺, ⑤肝臓</li> <li>・女性約27万人:多い部位①乳房, ②大腸, ③胃, ④子宮, ⑤肺</li> </ul>	2003年地域がん登録全国推計値
③生涯リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性54%, 女性41%</li> <li>・日本人の2人に1人ががんになる</li> </ul>	2003年国立がんセンターがん対策情報センターによる推計値
④受療・患者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な医療を受けている者は152万人</li> <li>・1日に29万7,800人が受療(全受療の3.6%)</li> </ul>	2008年患者調査
⑤がん医療費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2兆6,958億円</li> <li>・一般診療医療費全体の10.5%</li> </ul>	2007年国民医療費

### 【4】がん対策の予算

- 2010年度3省(厚労省, 文科省, 経産省)のがん対策予算:559億円

#### (1) 戦略にかかわる予算の推移

- ① 対がん10カ年総合戦略(1984年:15.1億円→1993年:19億円)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

<p>② がん克服新 10 か年戦略(1994 年:33.2 億円→2003 年:54.1 億円)</p> <p>③ 第 3 次対がん 10 か年総合戦略(2004 年:91.5 億円→2010 年 316 億円)</p> <p>(2) 厚生労働省のがん対策における 2010 年度予算・・・316 億円(前年度 237 億円)</p>	
①放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に 行う医師等の育成	43 億円
	がん診療連携拠点病院機能強化事業 (34 億円)
	がん医療に携わる医療従事者の計画的研 修事業(新規) (2 億円)
②がんの在宅療養・緩和ケアの充実	6 億円
③がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化 の促進	118 億円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がんの早期発見・早期治療に向けて、がん検診 50%推進本部を設置した。今後、国・地方公共団体・企業等の連携の強化を図り、がん検診の受診を促進する。</li> <li>・ がん医療に携わる医療従事者の研修等を引き続き行い、化学療法医、放射線治療医、病理医をはじめとした医療従事者の実態調査やがん医療の地域連携強化等により、がん医療の均てん化を図る。</li> </ul>	
	女性特有のがん検診推進事業(新規) (76 億円)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市区町村が一定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がんおよび乳がん検診の無料クーポン券および検診手帳を配布することにより、検診受診率の向上を図る事業に対して財政支援を行う。</li> <li>・ 子宮頸がん検診(20歳, 25歳, 30歳, 35歳, 40歳)</li> <li>・ 乳がん検診(40歳, 45歳, 50歳, 55歳, 60歳)</li> </ul>
	がん医療の地域連携強化事業(地域連携 コーディネーターの設置)(新規) (3 億円)
④がんに関する研究の推進	61 億円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん対策推進基本計画に掲げる目標の達成に資する研究を着実に推進し、がん予防、診断、治療等に係る技術の向上などの研究成果を普及、活用する。</li> </ul>	

⑤国立がん研究センター運営費交付金(新規)	88億円
<p><b>【5】その他</b></p> <p>・2010年3月11日開催の「第12回がん対策推進協議会」において、「2011年度がん対策に向けた提案書～みんなで作るがん政策～」が提案された。</p> <p>&lt;提案の骨子&gt;</p> <p>(1)がん対策の現状に対する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①がんに対する社会資源の投入が不十分であり、投入量を増やす必要がある。</li> <li>②政策立案決定プロセスを改善すべきである。</li> <li>③「予算」「診療報酬」「制度改革」の3つの側面を横断的に有機的な検討を行い、効率的で有効な対策を進めるべきである。</li> </ul> <p>(2)「予算」「診療報酬」「制度」の3つの側面からなる140本の推奨施策を提案</p> <p>(3)重点項目に入れるべき施策の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①緊急に重点的な実施が必要と考える9本のがん予算施策を提案する。</li> <li>②「がん診療連携拠点病院制度」の抜本的改正を求める。</li> <li>③全国的ながん登録システムを整備することを求める。</li> </ul>	

(参考:全国厚生労働関係部局長会議資料, がん対策推進協議会資料 等)